



















































































































## 平安時代の瓦窯

大阪府内では本遺跡、未報告の遺跡も含めて18遺跡で瓦窯が発見されている。窯の構造は平窯で、有林式のものが多い。大阪北部の吉野部瓦窯（吹田市）、阪瓦窯（枚方市）などは平安京に瓦を供給した瓦窯である。

### 大阪府内平安時代瓦窯

遺跡名	所在地	時代	備考
1 吉志部瓦窯	吹田市岸部北	平安初期	吉志部神社 平窯9基、登窯4基、平安宮へ瓦供給
2 新芦屋瓦窯	吹田市新芦屋	平安時代	遺跡地図に記載あり
3 芥川庵寺瓦窯	高槻市郡家本町	平安時代中期後半	平窯2基、近接の芥川庵寺に瓦を供給
4 楠葉瓦窯	枚方市楠葉	平安初期	平窯
5 牧野阪瓦窯	枚方市牧野	平安初期	平窯
6 粟倉瓦窯	枚方市小倉	平安時代	
7 向山瓦窯	八尾市大竹	平安後期	
8 鶴田池東遺跡	堺市菱木	平安後期～鎌倉	平窯2基
9 美木多瓦窯	堺市美木多瓦窯	平安末～鎌倉	平窯6基、放光寺跡境内と推定
10 下田池4号瓦窯	羽曳野市野々上	平安時代	平窯
11 龍泉寺瓦窯 北群	富田林市龍泉	平安後期	平地式平窯4基、龍泉寺に近接
12 池田寺1号瓦窯	和泉市池田下町	平安前期	池田寺に近接
13 大剣堂庵寺瓦窯	岸和田市箕上町大剣	平安後期～鎌倉	平窯2基、大剣堂庵寺に近接
14 春木庵寺瓦窯	岸和田市春木若松町	平安後期	春木庵寺に近接、河岸段丘を利用した瓦窯
15 神於寺瓦窯	岸和田市神於寺	平安時代	神於寺境内
16 加治・神前・富中瓦窯	貝塚市富中	平安時代後期	半地下式平窯3基、平地式平窯7基
17 林昌寺瓦窯	泉南市信達岡中	平安時代末期	半地下式平窯2基以上、林昌寺に近接
18 道弘寺瓦窯	阪南市	平安前期	平窯1基

表1 大阪府内 平安時代瓦窯一覽

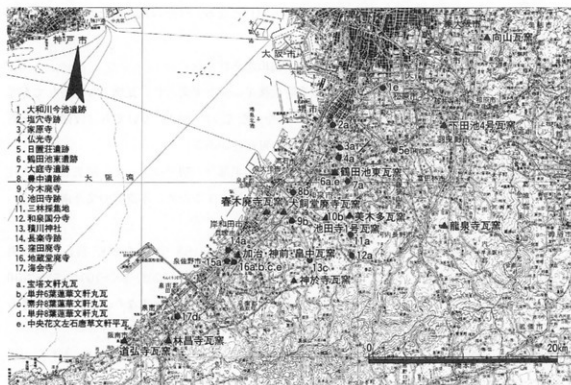


図28 瓦窯分布図、同范瓦分布図





2～3cmの厚い粘土板を貼り付けた1枚作りのものである。丸瓦は行基、玉縁両瓦が存在する。凸面のナデ、ケズリは丁寧である。凹面は布目痕で継痕が確認されるものもある。全体的に作りは丁寧で2～3cmで均等の厚さで作られている。これらは1～3号窯出土の瓦と類似し、連続性が見いだせる。若干摩滅しているものがあるが、これは後世の混入品であると考えられる。

Bタイプの窯から瓦の出土は少ないが、203・207号窯出土の瓦は土師質で焼成も悪いものがほとんどである。平瓦は凸面の縄目叩き、凹面の布目痕で1枚作りだが、粘土板は1cm前後の薄いものを重ねて貼り付けたものである。そのため、継ぎ目部分から割れてしまっているものが多い。丸瓦は玉縁瓦が1点出土しており、玉縁部分に穿孔している。全体的に作りは悪く、1～3号窯出土の瓦とは連続性が見いだせない。

以上のことから1～3号窯→Aタイプ→Bタイプの変化が考えられ、Aタイプは比較的長期間に渉る恒常的なものであったのに対し、Bタイプは一時的なものであった可能性が考えられる。

### 201号窯～207号窯の類例と検討

本調査で検出した201～207号窯については類例も少なく、わずかに大阪府富田林市龍泉寺北群

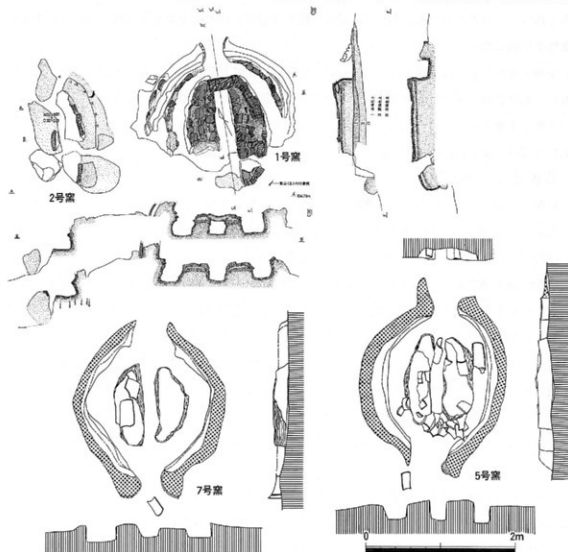


図29 坊地廃寺瓦窯、龍泉寺瓦窯比較図(報告書から転載)







図30 調査区周辺地字図

る近木王子として使用されたのが近義堂であろう。しかし、現在の熊野街道から離れることになり、熊野街道の経路についても、考える必要がある。

今回、調査した市役所南側は、平安時代後期に泉州地域に多く創建された寺院と同様に、近接して瓦窯が築かれていたことがわかった。しかし、瓦窯の構造、瓦の供給先である近義堂の規模や熊野街道について、熊野詣の王子の規模や施設について等不明な点があり、今後の課題は多いといえる。

(参考文献)

瓦窯関係

大阪府教育委員会1967『岸部瓦窯跡発掘調査概要』

広瀬和夫1980『池田寺遺跡における7、8世紀の集落構成』【大阪府下埋蔵文化財担当者研究会(第二回)資料】

大阪府教育委員会1980『西浦橋遺跡・鶴田池東遺跡発掘調査概要』

岸和田市1976『市内出土遺物図録 玉谷 哲氏所蔵資料』

宗教法人龍泉寺1981『龍泉寺-坊院跡および瓦窯跡群の発掘調査報告書-』





























版 图



2号窯出土軒丸瓦（7）



調査地全景

写真上が北東





瓦窯全景

写真上が南東



1. 1号窟～3号窟 全景

西より



2. 同 上

南西より



1. 1号窯 全景

北西より



2. 1号窯 焼成室～焚口

北東より



1. 1号窟 隔壁、分焰孔

西より



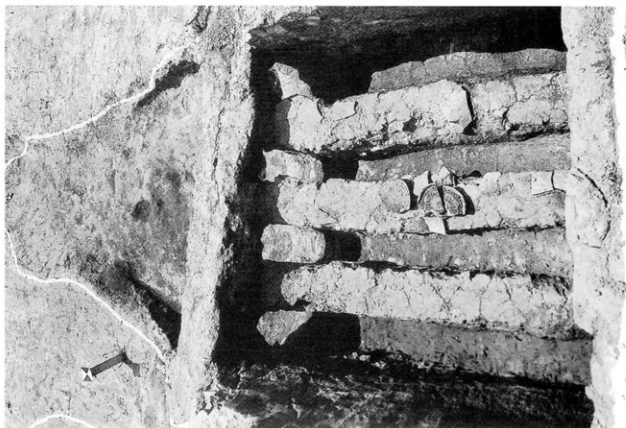
2. 1号窟 分焰林 断面

南西より



1. 2号窯 全景

南西より



2. 2号窯 焼成室～焚口

北東より



1. 2号窯 燃烧室 瓦出土状況

南西より



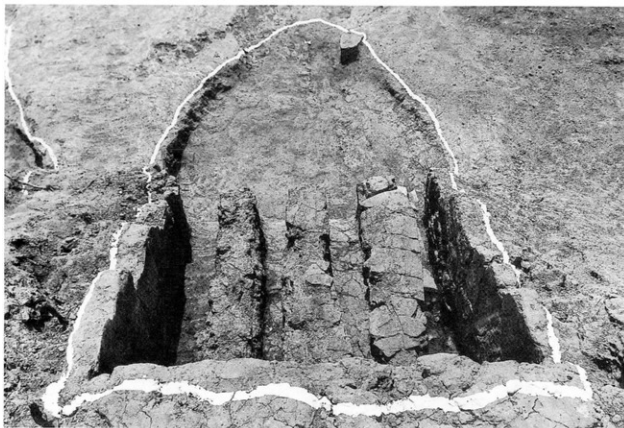
2. 2号窯 燃烧室 断面

南西より



1. 3号窯 全景

南西より



2. 3号窯 焼成室～焚口

北東より



1. 3号窟 溝瓦検出状況

南西より



2. 3号窟 溝掘削状況

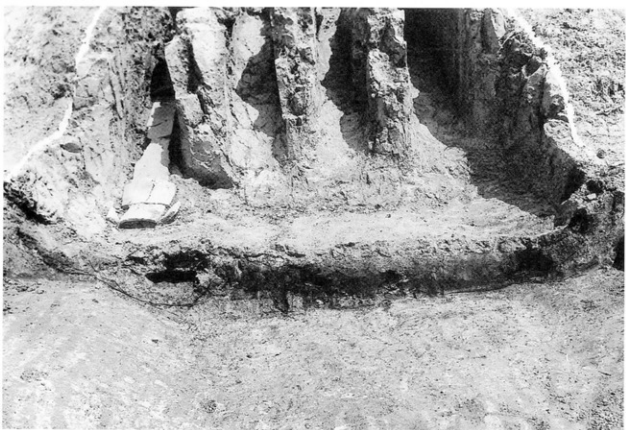
南東より





1. 3号窯 分埴鉢 断面

南西より



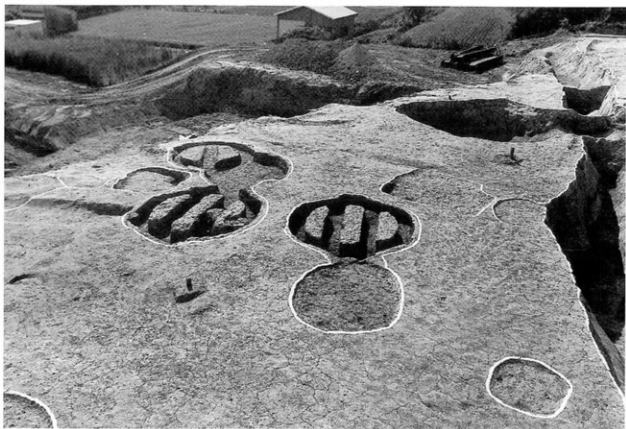
2. 3号窯 燃烧室 断面

南西より



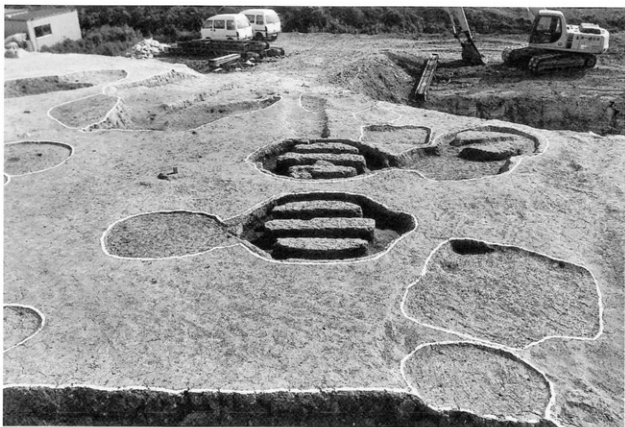
1. 201号窟～207号窟

南東より



2. 201号窟、202号窟、206号窟

東より



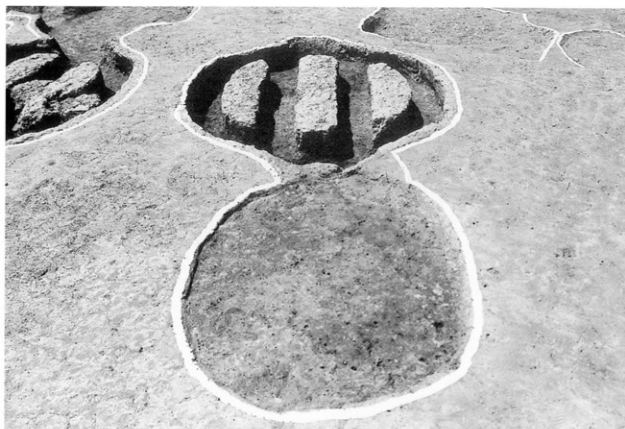
1. 201号窯、201号窯

北東より



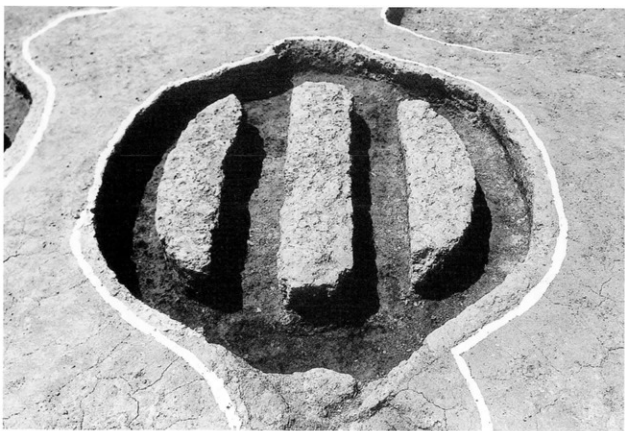
2. 203号窯、204号窯、205号窯

北東より



1. 201号窯 全景

東より



2. 201号窯 焼成室

東より



1. 201号窯 分焰床 断面

西より



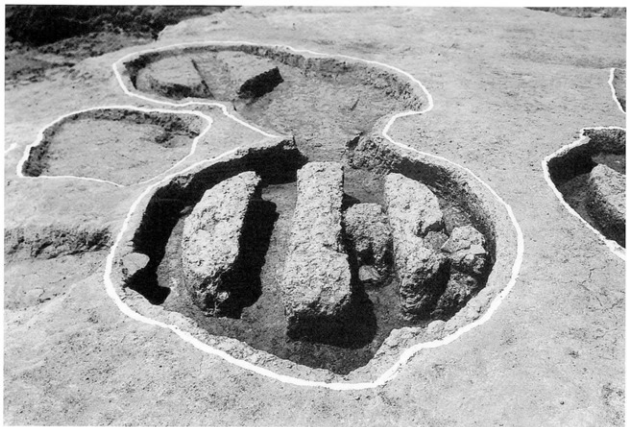
2. 201号窯 煙出

東より



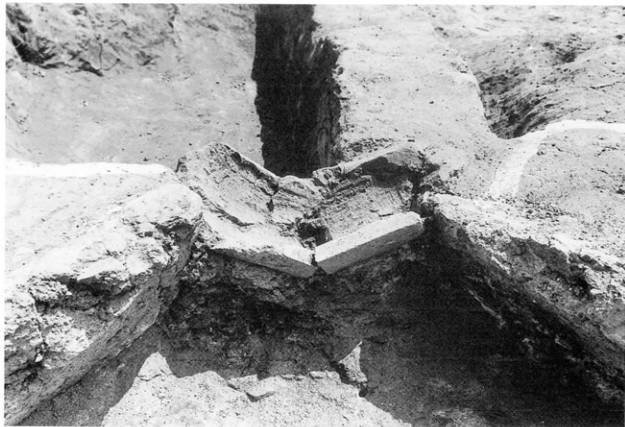
1. 202号窯 焼成室

南より



2. 202号窯 全景

東より



1. 202号窟 煙出部閉塞状況

東より



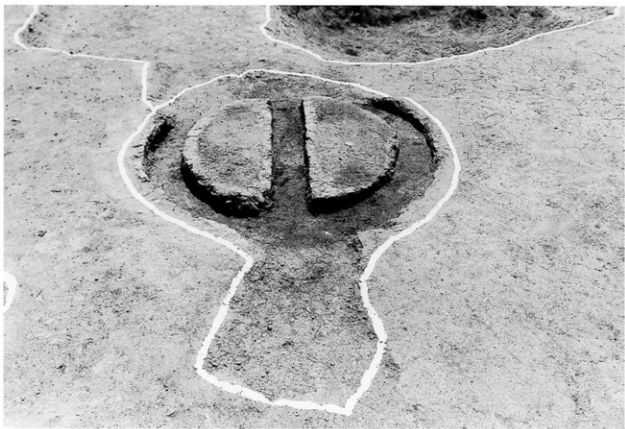
2. 202号窟 焚口瓦検出状況

北東より



1. 203号窯 全景

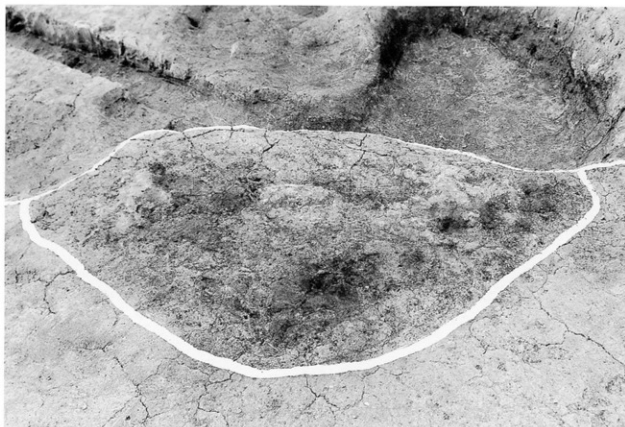
東より



2. 同 上

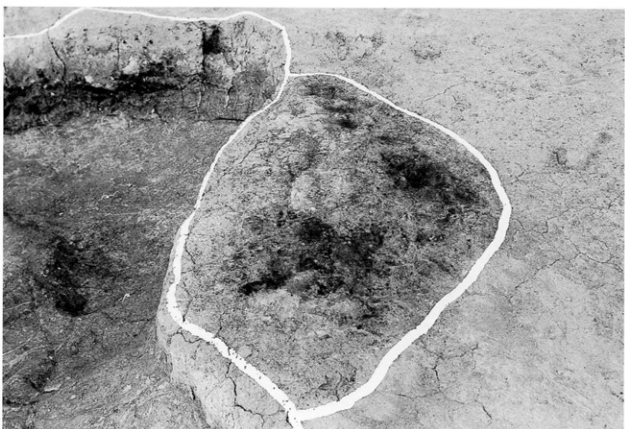
北より





1. 204号窟 全景

東より



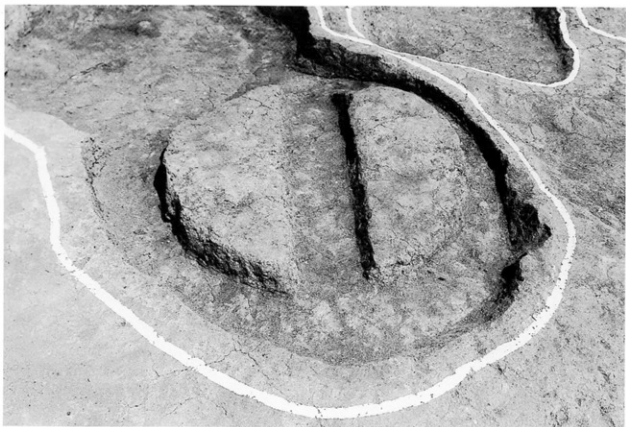
2. 同 上

南より



1. 206号窟 全景

東より



2. 206号窟 焼成室

西より



1. 207号窟 全景

西より



2. 同 上

北より



1. SD--2001~SD-2003

南東より



2. SD-2001

東より



1. SD-2003 全景

北より



2. SD-2004 全景

西より



1. 柱穴群

北より

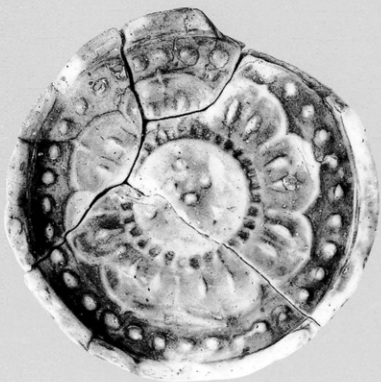


2. SX-1025、SX-1026

南より

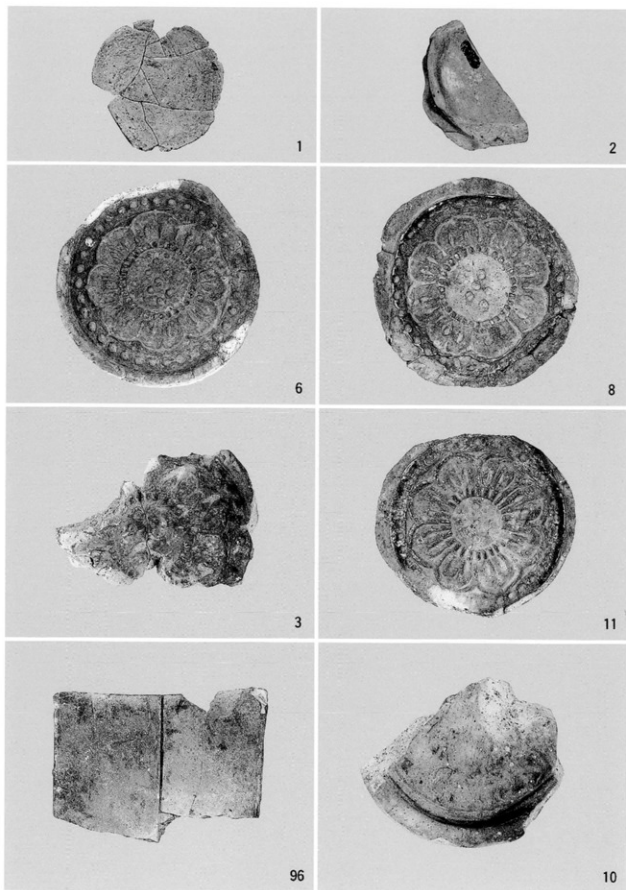


5



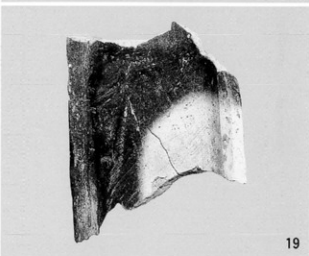
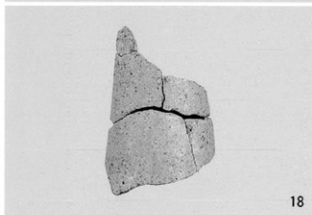
9

2号窟出土轩瓦(5、9)

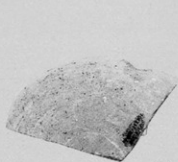


1号窟 (1)、2号窟 (2、6、8、3)、3号窟 (10、11、96) 出土遺物





201号窟 (15、18)、202号窟 (19、97、98) 出土瓦



24



26



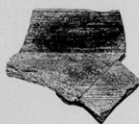
25



27



34



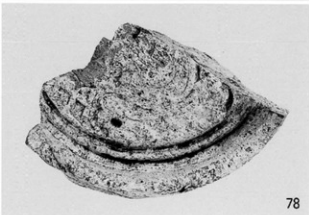
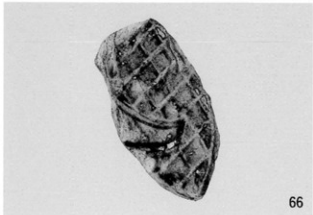
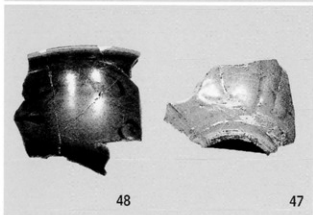
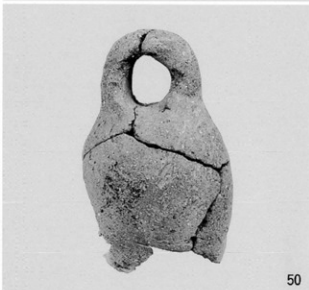
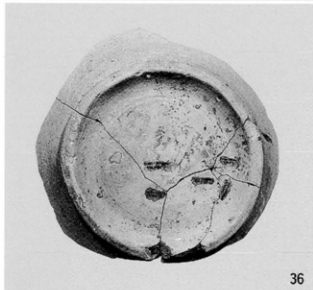
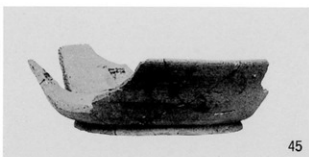
35



32



33



SD-2004(36)、Pit-2020(40)、SX-1004(66)、SK-1007(50)、SX-1002(49)、  
SX-1006(45)、SX-1027(78) 機械掘削 (48)、拡張区 (47) 出土遺物



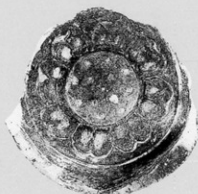
62



63



52



53



79



80

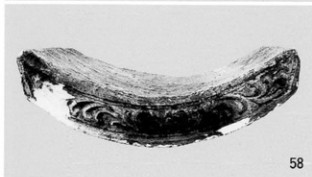


81



73

SX-1002(52、53)、SX-1004(62、63)、SX-1025(73)、SX-1028(79~81) 出土瓦



SX-1002(58)、SX-1004(69)、SX-1025(74、77)、SX-1028(86)、斜面部(94)出土瓦

